

1、教科書・副教材

高等学校 新編現代文 (第一学習社)
増補二訂カラー版新国語便覧

2、科目の目標

文章読解の基礎的な力を身につける。現代の比較的新しい作家の小説を読むことによって小説のおもしろさを味わう。また、近現代の代表的な作者の短歌・俳句を鑑賞する。学期末には骨のある評論を読む力を身につけたい。

3、学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)	
1 学 期	4月	青春の手帳 他人の夏 犬も歩けば棒 に当たる	2年生として新しい生活を始めるにあたって自分の考えを持つ。 わかりにくい言葉の意味を調べる。	中間考査	15
	5月				
	6月	ナイン 詩を味わう 文鳥	登場人物の気持ちを理解する。 現代詩のおもしろみを味わう。 写生文を味わう。	期末考査	15
	7月				
2 学 期	9月	そこが空っぽ になる	随想を読み味わい、情調を豊かにする。 短編小説の読み方を習得する。	中間考査	15
	10月	みどりの指 ひよこの眼			
	11月	人はなぜ道に 迷うか 短歌と俳句	新たな視点から、自分たちの文化の特質を考える。 近・現代の代表的な作者の作品を鑑賞する。	期末考査	15
	12月				
3 学 期	1月	人間は進化し ているのか 山月記	評論文を読むことで、思考力・批判力を養う。 主人公の生き方を通して他者との共生や思いやりについて考える。	学年末考査	18
	2月				
	3月				

4、評価の方法

定期考査に授業中の課題の提出状況、漢字などの小テストを加味する。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

※

平常点の比重が大きいため遅刻・欠席をしないこと。授業中の課題は毎回必ず提出すること。授業態度の著しく悪い場合は平常点がつかないので気をつけること。